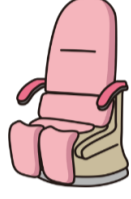





誘導分娩を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師

項目	月日 誘導前日	～ 誘導中	誘導分娩後
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 誘導分娩の必要性を理解し、精神面、身体面を整えて誘導分娩に臨むことができる 		
治療・薬剤 (点滴・内服・処置・リハビリ)	<ul style="list-style-type: none"> 子宮の出口の開き具合によって、夕食後に、内診台で子宮頸管に入り口(子宮口)を広げるための器具を挿入します 	<ul style="list-style-type: none"> 洗面を済ませ、朝6時に分娩室に移動、点滴を開始します 子宮頸管の器具とガーゼを抜去し、会陰の除毛を行います 7時から陣痛促進剤の入った点滴を開始します 分娩の進行に伴い内診を適宜行います 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 経膈超音波、経腹超音波、内診を行います 子宮口を広げるための器具の挿入後は、分娩監視装置でお腹の張りとお腹の張りと赤ちゃんの状態を観察します 	<ul style="list-style-type: none"> 分娩監視装置でお腹の張りとお腹の張りと赤ちゃんの状態を観察します 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内でお過ごし下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 分娩室で過ごします。ほとんどをベッド上で過ごすことになります 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> 分娩の進行具合によっては、食事が可能です。しかし、分娩が進行している場合には食事ができません。飲水の制限はありません 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 子宮口を広げるための器具挿入後はシャワー浴はできませんので、夕食前にシャワー浴をしておきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 誘導中は、シャワー浴はできません 分娩が進まずに誘導を中止した場合は、お部屋にお戻りいただき、状況によってはシャワー浴が可能です 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> 分娩の進行状況に応じた排泄介助を行います。子宮口が4cm未満で破水をしていない場合は、トイレ、またはポータブルトイレで排泄を行います。子宮口が4cm以上開大している場合や破水している場合は、ベッド上で尿器を使用して排泄を行います 	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より、患者様・ご家族様へ誘導分娩に関する説明を行います。その後、ご納得いただいた上、同意書に署名・捺印をお願い致します 分娩のための必要物品や誘導分娩の流れ、呼吸法についてお話しします 性器出血や破水、10分以内の痛みを伴う子宮収縮がある場合は看護師に教えてください トイレに行った際、子宮頸管を開く器具やガーゼが落ちた時には、流さずにその場でナースコールを押して看護師に教えてください 	<ul style="list-style-type: none"> 性器出血や破水がある場合は教えてください 陣痛が強くなったり、便がしたい感じが出てきた場合は教えてください 分娩の進行に合わせて助産師がマッサージや呼吸法の声かけを行いますので、立ち合われているご主人もしくは実母と一緒にいきましょう 分娩室への入室は、ご主人もしくは実母のどちらかお一人のみ入室できます 分娩監視装置で陣痛と胎児の状態を観察します。そのモニターの波形は、患者様の同意を得た後に、医局やナースステーション・MFICUのフロア内で注意して観察させていただきます 分娩が進行せず誘導を中止した場合は、翌日に再度誘導分娩を朝6時から同じスケジュールで開始します(翌日が休日の場合は平日に行います) 	<ul style="list-style-type: none"> 分娩後は、「正常分娩をされる患者さんへ」のクリニカルパスに沿ってご説明致します 

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。